

子どもたちの声

- ・ずっと続いている伝統は、たくさんの人に支えられていることが分かりました（小学6年生）
- ・現地へ行き、感じたことから生まれる気付きや感情が人間に一番影響をもたらすことができる（高校2年生）
- ・義務教育の段階で福島のことや情報の見方を教えるべきだと思います。事実を間違いなく伝えることは非常に難しいが、かなりの責任があり大変なことだと思った。（中学3年生）
- ・震災についてあまり意識して見ていなかったが、この経験を通じてもっと福島についてもっと深く知りたいと思った。復興への歩みはまだまだ課題があるが、私たちが少しでも福島に貢献する活動がしたい。（高校3年生）
- ・楽しかったし、難しかったけど、とても勉強になり、これからの将来に役立てていきたい。（中学1年生）
- ・復興の大変さを知って、前の福島よりもっといい福島にしていってほしいなと思った（もちろん自分も良い福島にしていくために頑張りたい）（中学2年生）
- ・世代の違う人たちと同じ目標に向かって何かを成し遂げることによって自分とは全く違う考えを共有できた。（高校3年生）
- ・自分の見方(主観)だけでなく客観的な視点を持つことが大切だと思った（小学6年生）
- ・震災後の漁港がどうなっているか気になっていたのを知れてよかったです。ジャーナリストスクールに参加するのは3回目だけれど、毎回違う学びがあって自分のためになるものばかりで参加してよかったです。（中学3年生）
- ・4日間だったけど初めての友達と仲良くできてすごく良かったです。また、協力して良い新聞をつくれたことも良かったです。（小学6年生）
- ・福島についてまだまだ知らないことがたくさんあると感じました。福島の”今”について知れたのが良い経験になったと思います。（中学3年生）
- ・4日間ととても長い期間取材をしたが、とても大事なことを何個も学べたため良かった。（中学1年生）
- ・実際に取材に行ってみないとわからなかったの、たくさん経験を得た。（中学1年生）
- ・今回で2回参加させて頂いているのですが、前回とは違う新聞作りの大切さや工夫に気付くことができました。できれば来年も参加したいです。本当にありがとうございました！（中学2年生）
- ・伝統産業としての課題や地元愛を感じ、受け継ぐ必要があると強く感じました。（高校2年生）